

ごうどひとめぐり

鹿児島県から人事交流で赴任

神戸小学校 中村 格先生

木曾三川の治水を契機に交わされた「姉妹県盟約」をきっかけとして、岐阜県と鹿児島県の間で小中学校教員の人事交流が始まってから今年で50周年。この記念すべきタイミングで今年4月から鹿児島県から神戸小学校に赴任したのが、4年2組を担当する中村格先生です。

中村先生は出身地である奄美大島で高校まで通った後、鹿児島市内の大学に進学。県内で就職したため、鹿児島県外に居を構えるのは今回が初めてです。他県の現場を見たいと考えていたところに人事交流の話が持ち上がり、家族の強い後押しもあって赴任を決めました。

神戸町の印象を尋ねると、「山に囲まれた場所で暮らしていたので、一面に広がる田園風景を目にしたときは感動しました」と嬉しそうに話してくれました。過



去に鹿児島市と、奄美群島の一つである徳之島の2校に赴任した経験がありますが、「神戸の子どもたちは、徳之島の子に近い印象です。自然の多い環境で生き生きと生活しています」と話します。

教員としてのモットーは「子どもと対等の立場で、敬意をもって接する」こと。叱るのではなく、少しでもよくなったところを認めることを心がけています。「自分は尊重されているんだ」という思いが、自覚をもった行動に繋がると考えて子どもたちと接しています。

学生時代、勉強はあまり好きではなかった中村先生。教員になる際には、特に苦手だった国語を専門教科として選びました。「毎日授業がある国語を好きになれば、毎日楽しい時間ができる」と考えてのことです。学生時代は多くなかった読書量も、今では年間100冊ほど読むようになりました。過去の自分のように勉強に苦手意識をもつのではなく、子どもたちには楽しんで学んで欲しいと考え、他校の授業の見学にも参加し、ノウハウを取り入れています。

人事交流は3年間の予定で、現在担任している4年生の卒業を見届けて鹿児島に戻ることにあります。今後の目標を聞くと中村先生は「子どもと教員が一つになり、休みの日にも『学校に行くのが待ち遠しい!』と思えるような楽しい学校を目指したいです」と話してくれました。

戸籍の窓

10月1日～10月31日までの受付分
(届出順・敬称略)
希望者のみ掲載しています



お誕生おめでとうございます

区名	お子さんのお名前(ふりがな)	親さんのお名前
峰之井	瀬木 柚紀 (ゆづき)	・隆 紀, いづみ
下新町	石神 楓佳 (ふうか)	・裕 章, 香織
下宮	笈田 透空 (とあ)	・光, 史歩
柳瀬	和田 愛菜 (えま)	・慎 平, 有優
川西	桐山 陽稀 (はるき)	・大 輝, 美希



ご結婚おめでとうございます

栄町 藏 捺子 ♥ 齋藤 侑気
川西 安藤 賢亮 ♥ 喜多川 美呼

人の動き

令和4年11月1日現在

人口 … 18,599人 (- 22)
男 … 9,085人 (- 16)
女 … 9,514人 (- 6)
世帯数 …… 7,174世帯 (+ 11)

※()内は前月との比較



心からお悔やみ申し上げます

三津屋 小田 桂子 (68歳)
鍛冶屋町 河合 豊雄 (89歳)
八条 大野 輝幸 (87歳)
柳瀬 高橋 良子 (92歳)
三津屋 今西 義尋 (86歳)
東方 伊藤 治男 (78歳)
福井 土屋 忠男 (96歳)
北一色 高岡 信行 (93歳)
柳瀬 小倉 政明 (95歳)
瀬古 傍嶋 昌子 (101歳)
福井 久保田 幹雄 (76歳)
栄町 岡崎 澄夫 (78歳)

